英文法 L01 第 15 講 未来表現

学習目標

- will と be going to の基本的な形を理解し、肯定文・否定文・疑問文を正しく作ることができる。
- 未来の意思・予定・予測を表す英文の意味を理解できる。
- 話し手の意思や予定が明示された文脈を読み取り、文法と意味の両方に合う未来表現を選ぶことができる。

1. 未来表現の基本

英語では、これから起こることや、これからすることを表すときに will や be going to を使う。

どちらも未来について述べる表現だが、話し手がその場で決めたことを伝えるのか、前から考えていた予定を伝えるのかによって、使われ方に傾向がある。

未来表現の基本形

① will + 動詞の原形

will は、これからすることへの意思や、未来についての予測などを表す。

- **意思**：本人が何かをしようとする気持ち
- **予測**：これから何が起こるかについての見通し

② be going to + 動詞の原形

be going to は、すでに考えている予定や、現在の状況をもとにした未来の予測などを表す。

- **予定**：これからしようと考えていること
- **現在の兆候に基づく予測**：今見えている状況を手がかりに、これから起こることを予測すること

どちらの形でも、後ろには動詞の原形を置く。

2. will と be going to の形

2-1. 肯定文・否定文・疑問文

2 つの未来表現の語順

文の種類	will	be going to
肯定文	She will study.	She is going to study.
否定文	She will not study.	She is not going to study.
疑問文	Will she study?	Is she going to study?

それぞれの意味を確認する。

英文	和訳
She will study.	彼女は勉強するだろう。
She will not study.	彼女は勉強しないだろう。
Will she study?	彼女は勉強するだろうか。
She is going to study.	彼女は勉強する予定だ。

英文	和訳
She is not going to study.	彼女は勉強する予定はない。
Is she going to study?	彼女は勉強する予定なのか。

この表では、will を使う文を未来の予測として、be going to を使う文を予定として訳している。実際の意味は文脈によって変わる。

will を使う場合

- 肯定文は、主語の後ろに will + 動詞の原形 を置く。
- 否定文は、will not + 動詞の原形 にする。
- 疑問文は、Will + 主語 + 動詞の原形 …? の語順にする。

will not は won't に短縮できる。

be going to を使う場合

- 肯定文は、主語の後ろに be 動詞 + going to + 動詞の原形 を置く。
- 否定文は、be 動詞の後ろに not を置く。
- 疑問文は、be 動詞を主語の前に出す。

be going to の be 動詞は、主語に合わせて変える。

主語	使う形
I	am going to
He / She / It	is going to
You / We / They	are going to

will は主語によって形が変わらない。一方、be going to では am・is・are の使い分けが必要になる。

動詞の原形を確認する

次の 2 つの形を覚えておこう。

- will + 動詞の原形
- am / is / are + going to + 動詞の原形

will の後ろに to は付けない。

また、going to の後ろにも動詞の原形を置く。主語が三人称単数でも、後ろの動詞に -s は付けない。

---

3. will と be going to の基本的な使い分け

3-1. その場の申し出と前からの予定

話し手がいつ決めたかに注目する

まず、次の 2 つの場面を考えよう。

場面①：その場で手伝うことを申し出る

男性が重い箱を持っている。女性はそれに気づき、その場で手伝おうと決めて声をかける。

場面②：前から決めていた旅行の予定を話す

同じ女性が、翌日の旅行に備えて切符を用意し、スーツケースの準備をしている。旅行は前から決めていた予定である。



図 1　左：その場で手伝う申し出／右：前から決めていた旅行の予定

場面	英文	和訳
① その場の申し出	I will help you with the box.	その箱を運ぶのを手伝うよ。
② 前からの予定	I am going to travel tomorrow.	私は明日旅行に行く予定だ。

場面①では、話し手がその場で手伝うと申し出ているため、will が自然である。

場面②では、前から決めていた旅行の予定を伝えているため、be going to が自然である。

ただし、絵に描かれた行動だけでは、本人がいつ決めたかまでは分からない。ここでは、それぞれの場面設定を手がかりにしている。

また、この違いは絶対的なものではない。will で予定を述べることも、be going to で意思を表すこともある。

3-2. 未来の予測

どちらも未来の予測に使える

will と be going to は、どちらも未来の予測に使える。

will による予測

I think it will rain tomorrow.

（明日は雨が降ると思う。）

話し手が、明日の天気について自分の予測を述べている。

be going to による予測

be going to は、現在の状況からこれから起こることを予測するときにもよく使う。

例えば、空に濃い雨雲が広がっているのを見て、まもなく雨が降りそうだと判断する場面である。

ただし、現在の兆候があるからといって、will が使えなくなるわけではない。

未来表現の問題では、単語や場面だけを見て両者を無理に区別せず、**英文の形と、話し手が実際に伝えようとしている内容**を確認することが大切だ。

未来表現を選ぶときの判断手順

1. 主語を確認し、will または be going to が正しい形になっているかを調べる。
2. 肯定・否定や、話し手の意思・予定・予測を確認する。
3. 選択肢を完成文にして、文法と文脈の両方に合うかを判断する。

will と be going to の両方が使える文脈もある。その場合は、片方だけを無条件に誤りとはしない。

4. 例題

1

次の会話の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

A: These boxes are heavy.

B: I (　　) carry one for you.

- A. will
- B. will to
- C. am will
- D. will be

解答・解説

正解：A

完成文：

I will carry one for you.

和訳
A：これらの箱は重いね。

B：私が代わりに一箱運ぶよ。

判断の過程
まず、B は A が重い箱を持っていることを知り、その場で一箱運ぼうと申し出ている。

その場での申し出には will がよく使われる。

次に、空所の後ろを見ると carry がある。carry は動詞の原形なので、直前に will を置けば正しい語順になる。

したがって、A を選ぶ。

各選択肢の確認
- **A. will：正しい。** will + 動詞の原形 の形になり、その場での申し出を表せる。
- **B. will to：誤り。** will の直後に to は不要である。
- **C. am will：誤り。** will の前に am を置いて、このような未来表現は作れない。
- **D. will be：誤り。** 後ろの carry と組み合わせると will be carry となり、正しい動詞の形にならない。

この問題では will の基本形を確認した。be going to を使った文が必ず不適切という意味ではない。

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

We bought our tickets yesterday.

We (　　) visit the zoo tomorrow.

- A. is going to
- B. are going
- C. are going to
- D. will to

解答・解説

正解：C

完成文：

We are going to visit the zoo tomorrow.

和訳
私たちは昨日、切符を買った。

私たちは明日、動物園を訪れる予定だ。

判断の過程
最初の文から、切符をすでに買っていることが分かる。この文脈では、動物園に行く予定を be going to で自然に表せる。

ただし、切符を買ったという事実だけで、will が使えなくなるわけではない。

次に、文の形を確認する。

主語は We なので、be 動詞は are を使う。また、going の後ろには to が必要である。

したがって、C の are going to が正しい。

各選択肢の確認
- **A. is going to：誤り**。 主語が We なので、is ではなく are が必要である。
- **B. are going：誤り**。 後ろに動詞の原形 visit が続くため、going to visit の形にする必要がある。
- **C. are going to：正しい**。 主語に合う be 動詞を使い、going to + 動詞の原形 の形になっている。
- **D. will to：誤り**。 will の後ろに to は置かない。

5. 演習問題

次の各問について、空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

1

My sister (　　) cook dinner for us tonight.

- A. are going to
- B. is going to
- C. is going
- D. be going to

©ミライコーチング

2

(　　) they visit the library next week?

- A. Will
- B. Do will
- C. Will to
- D. Are will

3

We will not (　　) the shop tomorrow.

- A. opens
- B. opening
- C. to open
- D. open

4

(　　) your father going to drive tomorrow?

- A. Do
- B. Will
- C. Is
- D. Are

5

友人から箱を運ぶのを手伝ってほしいと頼まれ、その場で引き受けた。会話の流れに合うものを選べ。

A: Can you help me carry this box?

B: Yes, I (　　).

- A. will leave now
- B. will carry it with you
- C. won't help you
- D. will call my sister

©ミライコーチング

6

昨日、大阪行きの切符を買った。明日大阪へ旅行する予定は今も変わっていない。文脈に合うものを選べ。

We bought tickets to Osaka yesterday.

We (　　) tomorrow.

- A. will stay home
- B. are going to cancel the trip
- C. won't travel to Osaka
- D. are going to travel to Osaka

7

空には濃い黒雲が広がっている。まだ雨は降っていないが、話し手は「まもなく雨が降りそうだ」と予測している。文脈に合うものを選べ。

Look at those dark clouds.

It (　　).

- A. is going to rain soon
- B. is not going to rain soon
- C. will be sunny soon
- D. will stay dry all day

8

明日のコンサートには行かないと決めた。現在の決定に合うものを選べ。

The concert is tomorrow.

I decided not to go.

I (　　).

- A. will go to the concert
- B. am going to attend the concert
- C. won't go to the concert
- D. am going to go to the concert

6. 演習問題の解答・解説

1

正解：B

完成文：

My sister is going to cook dinner for us tonight.

和訳
私の姉（妹）は今夜、私たちのために夕食を作る予定だ。

判断の過程
主語は My sister で、三人称単数である。

be going to を使う場合、三人称単数の主語には is を用いる。

空所の後ろには動詞の原形 cook があるため、is going to cook とすれば正しい形になる。

各選択肢の確認
- **A. are going to：誤り。** My sister は単数なので、are は使えない。
- **B. is going to：正しい。** 主語に合う is を使い、後ろに動詞の原形が続いている。
- **C. is going：誤り。** この位置で cook を続けるには、going の後ろに to が必要である。
- **D. be going to：誤り。** 肯定文で主語の直後に置くには、be を is に変える必要がある。

2

正解：A

完成文：

Will they visit the library next week?

和訳
彼らは来週、図書館を訪れるだろうか。

判断の過程
文末に疑問符があるので、疑問文の語順を確認する。

will を使う疑問文は、Will + 主語 + 動詞の原形 …? の形で作る。

主語は they、動詞は原形の visit なので、文頭に Will を置けば正しい疑問文になる。

各選択肢の確認
- **A. Will：正しい。** Will they visit …? の語順になっている。
- **B. Do will：誤り。** will の疑問文を作るために Do を付けることはできない。
- **C. Will to：誤り。** will と主語の間に to は置かない。
- **D. Are will：誤り。** will の疑問文を作るために Are を付けることはできない。

3

正解：D

完成文：

We will not open the shop tomorrow.

和訳
私たちは明日、その店を開けないつもりだ。

判断の過程
空所の前には will not がある。

will の否定文は、will not + 動詞の原形 の形にする。

したがって、空所には原形の open が入る。

各選択肢の確認
- **A. opens：誤り。** -s が付いた形ではなく、動詞の原形が必要である。
- **B. opening：誤り。** この位置には -ing 形ではなく、動詞の原形を置く。
- **C. to open：誤り。** will not の後ろに to は不要である。
- **D. open：正しい。** will not + 動詞の原形 の形になっている。

4

正解：C

完成文：

Is your father going to drive tomorrow?

和訳
あなたのお父さんは明日、車を運転する予定なのか。

判断の過程
空所の後ろには your father going to drive がある。

be going to の疑問文では、be 動詞を主語の前に置く。

主語の your father は三人称単数なので、必要な be 動詞は is である。

疑問文の文頭では Is とする。

各選択肢の確認
- **A. Do：誤り**。 be going to の疑問文は、Do ではなく be 動詞を主語の前に置いて作る。
- **B. Will：誤り**。 後ろに going to drive が続いているため、Will your father going to drive ...? という形にはできない。
- **C. Is：正しい**。 主語が三人称単数で、Is + 主語 + going to + 動詞の原形 ...? の形になる。
- **D. Are：誤り**。 your father は単数なので、Are ではなく Is を使う。

5

正解：B

完成文：

A: Can you help me carry this box?

B: Yes, I will carry it with you.

和訳
A：この箱を運ぶのを手伝ってくれる？

B：うん、一緒に運ぶよ。

判断の過程
A は箱を運ぶのを手伝ってほしいと頼んでいる。

B は Yes と答え、その場で手伝うことを引き受けている。

したがって、B の発言は箱を一緒に運ぶという意思を表す内容でなければならない。

will carry it with you は、その場での申し出を自然に表している。

各選択肢の確認
- **A. will leave now：誤り**。 「今から立ち去る」という内容になり、箱を運ぶのを手伝うという返事にならない。
- **B. will carry it with you：正しい**。 「あなたと一緒にそれを運ぶよ」という申し出になり、依頼を引き受けている。
- **C. won't help you：誤り**。 「あなたを手伝わない」という意味になり、依頼を引き受けたという設定と矛盾する。
- **D. will call my sister：誤り**。 「姉（妹）に電話する」という内容であり、自分が箱を運ぶのを手伝うという返事にならない。

ここでの判断の決め手
will は、その場での申し出を表すときによく使う。

ただし、この問題では will があるという理由だけで正解を決めているわけではない。選択肢の中で、依頼を引き受けるという意味に合うのが B だけであることも確認する。

6

正解：D

完成文：

We bought tickets to Osaka yesterday.

We are going to travel to Osaka tomorrow.

和訳
私たちは昨日、大阪行きの切符を買った。

私たちは明日、大阪へ旅行する予定だ。

判断の過程
まず、切符は昨日すでに購入している。

さらに、問題文では明日大阪へ行く予定が今も変わっていないと明示されている。

したがって、これから大阪へ行くという内容が必要である。

D の are going to travel to Osaka は、前から決めていた予定を自然に表している。

各選択肢の確認
- **A. will stay home：誤り。**「家にいるつもりだ」という内容であり、明日大阪へ旅行するという予定に合わない。
- **B. are going to cancel the trip：誤り。**「旅行を中止する予定だ」という意味であり、予定に変更がないという設定と矛盾する。
- **C. won't travel to Osaka：誤り。**「大阪へ旅行しない」という否定になり、明日大阪へ行く予定と矛盾する。
- **D. are going to travel to Osaka：正しい。**明日大阪へ旅行するという予定を表している。

ここでの判断の決め手
前から決めていた予定を伝えるときは、be going to がよく使われる。

ただし、同じ予定を will で表すこともできる。

この問題で D が唯一の正解になるのは、他の 3 つの選択肢が、明日大阪へ旅行するという予定に合わないためである。

7

正解：A

完成文：

Look at those dark clouds.

It is going to rain soon.

和訳
あの黒い雲を見て。

まもなく雨が降りそうだ。

判断の過程

話し手は、空に広がっている濃い黒雲を見ている。

まだ雨は降っていないが、その雲を手がかりに、まもなく雨が降りそうだと予測している。

このように、現在の状況に基づいて未来を予測するときは、be going to がよく使われる。

選択肢 A は、その予測を正しく表している。

各選択肢の確認

- **A. is going to rain soon：正しい。**「まもなく雨が降りそうだ」という意味で、話し手が述べたい予測に合っている。
- **B. is not going to rain soon：誤り。**「まもなく雨が降ることはなさそうだ」という否定の予測になり、設定された予測と反対である。
- **C. will be sunny soon：誤り。**「まもなく晴れるだろう」という予測であり、まもなく雨が降るという内容を表していない。
- **D. will stay dry all day：誤り。**「一日中雨が降らないだろう」という予測になり、まもなく雨が降るという内容と矛盾する。



図 2　今見えている黒い雲を手がかりに、これから雨が降ると予測する

英文	和訳
It is going to rain soon.	まもなく雨が降りそうだ。

この場面では、雨が降る前の濃い黒雲が、未来を予測する手がかりになっている。

ただし、**未来の予測には will も使える。**

例えば、次の英文も自然である。

It will rain soon.

（まもなく雨が降るだろう。）

したがって、この問題では will による予測が誤りなのではない。B〜D が、問題で明示された「まもなく雨が降る」という予測を表していないことが誤答の理由である。

8

正解：C

完成文：

The concert is tomorrow.

I decided not to go.

I won't go to the concert.

和訳

コンサートは明日だ。

私は行かないと決めた。

私はそのコンサートには行かないつもりだ。

判断の過程

最初の文から、コンサートが明日行われることが分かる。

次の文では、話し手が行かないと決めたことを明示している。

したがって、最後の文もコンサートに行かないという意思を表す必要がある。

won't は will not の短縮形である。

C の won't go to the concert が、話し手の決定に合っている。

各選択肢の確認

- **A. will go to the concert：誤り**。「コンサートへ行くつもりだ」という肯定の内容になり、行かないという決定と矛盾する。
- **B. am going to attend the concert：誤り**。「コンサートに参加する予定だ」という意味であり、行かないという決定に合わない。
- **C. won't go to the concert：正しい**。「コンサートには行かないつもりだ」という否定の意思を表している。
- **D. am going to go to the concert：誤り**。「コンサートに行く予定だ」という意味であり、行かないという決定と矛盾する。

ここでの判断の決め手

A〜D はいずれも、空所に入れれば文法的に正しい英文になる。

しかし、問題で明示されているのは「コンサートには行かない」という決定である。

will と be going to の違いだけで判断するのではなく、肯定・否定を含めた文全体の意味を確認すれば、C だけを選べる。